

ばら組

はじめての食育～見て・触れて・味わって～



朝の戸外遊びのあと、はじめての食育に参加しました。今回は、乾物の観察と味比べをしました。

乾物では、わかめやしいたけ、きりぼし大根を見て「これしてる！」と教えてくれました。ピーンは「これなに？」と不思議そうにしていました。手でさわると「かたいね」

と話し、においをかいで「におわない」と真剣な表情で見つめていました。水につけるとだんだんやわらかくなり、「やわらかくなってる！」と変化に気づいていました。



あじくらべでは、砂糖や塩、レモン、ココアを少しずつ味わいました。レモンを口にすると「にがい」「からい」と顔をくしゃくしゃにしながら感じたことを言葉や表情で表現していました。ココアははじめ「にがい」と話していましたが、砂糖を混ぜると「おいしい！」「チョコレートのあじがするー」と嬉しそうに変化を感じ取り、口のまわりいっぱいココアをつけながら夢中で味見し感想を伝えていました。



今回の食育では、見て・触れて・において・味わう中で、食材の変化や味の違いに気づき、自分の感じたことを言葉や表情で表現する姿が印象的でした。今後もこうした体験を大切にしながら、食への興味や関心がさらに広がっていくよう関わっていきたいと思います。



10の姿：思考力の芽生え、言葉による伝え合い